

出題意図：

西洋画専攻としては、150年以上前に成立した西洋画という言葉が無批判に継承することはできない。西洋思想および現代思想との対決から、個々に創作思考を発展させる必要がある。たとえ評価されたアーティストの業績であっても、鵜呑みにすることなく、批判的に捉える視座を持つことが肝要である。本設問は、アトリエ内で自足していた美術が、現代においてその領域を拡張する中で必然的に生じてくる諸問題への批判的・合理的態度を問うている。大学院生＝研究者として備えていなければならない必須の素養の有無を問う設問である。